



年 組 名前

道新でワークシート

雪少ない ゲレンデため息 管内積雪 平年の半分以下

石狩管内は今冬、少雪が続いている。暖かい日が続く、降雪が少ないため、札幌市内のスキー場では半分しかコースをオープンできず、ホームセンターでは除雪用品の売れ行きに陰りがでるなど影響が出ている。今後2週間は気温が高く推移する見通しで、関係者が天候を気にする日々は続きそうだ。

札幌管区気象台によると、21日時点の石狩管内の最深積雪は、少ないところでも千歳が3センチと平年値26センチの約1割、恵庭島松は15センチと平年値47センチの約3割に。札幌市中央区は26センチと平年値58センチの半分ほどで、いずれも3月下旬並みという。

少雪のため、さまざまな影響が出ている。

札幌市南区の国営滝野すずらん丘陵公園は、雪遊びを楽しめる「滝野スノーワールド」の今季営業を昨年12月下旬に始めたが、いまだに全面オープンには至っていない。

滑走コース半減

全長250メートル、幅80メートルのファミリーゲレンデは、駐車場など園内の雪をかき集めて利用を開始したもの、滑走できるのはコースの半分ほど。指定管理するSPAC滝野管理センターの浅沼義行企画広報係長は、「こんなに雪が少ないのはまれ。降雪を待つしかない」とこぼす。

子どもたちに人気の「チューブそり」も例年は200メートルのコースを3、4本設けるが、今年は100メートルのコースが2

本のみ。2歳の息子と訪れた同市清田区の会社員Aさん(43)は「コースがずいぶん小さいと感じた。物足りなさを感ずる子どももいるのでは」と話した。

除雪用品売れず

札幌市北区の大型ホームセンター「ジョイフルエーカー屯田店」では、スノーダンプなど除雪用品の年末までの売り上げは前年比2割増と好調だったが、今年に入って激減。1月は20日までで前年比で6割以上減ったという。新酒英暁副店長は「氷割りで使うのはし

業者は赤字苦慮

札幌市から除雪を請け負う23の除雪センターのうちの一つでは、出勤回数が増えたという。1ほどに減ったという。除雪に関して市民から寄せられる苦情電話の件数は例年になく少ないというが、除雪センター長は「市から待機分の補償はもらえないが、人件費や重機のリース代を支払うと赤字だ」と頭を悩ませている。

などの商品は春先から購入が増えるが、すでに売れ始めている」と驚く。



雪不足の影響で地面が一部露出したゲレンデ。周囲にコーンを置いて注意を促していた(館山国敏撮影)

2025年1月23日(木)朝刊 地域面(札幌市内版)13ページ (記事は再編集しています)

- (1) 降雪(こうせつ)が少ないことで滝野スノーワールド(スキー場)では、どんなことが起きていますか。
- (2) 降雪が少ないことで、除雪(じょせつ)センターの方々はどうなことに困(こま)っていますか。
- (3) 雪が少ないことで助かることもたくさんあります。どんなことがあるか、おうちの人にインタビューしてみましょう。